

自分のよさに自信がもてる学級活動の工夫 異年齢交流を取り入れたクラス年表作りを通して

課題

手立て

特別活動班 渋澤 敏雄 (小学校教諭)

こんな児童いませんか？

自分にはよいところがないと感じている...
自分のよさに気付かず自信がない...
同年齢の友だちとトラブルが多くなってしまふ...

5年生が1年生と交流する**異年齢交流**
よさを可視化する**クラス年表**

実践：異年齢交流

1年間に1年生と3回の異年齢交流を実践!!

5年生にとっては、次のようなよさが発揮されました

遊びを通して交流しよう

5年生と1年生がドッジボール、お絵かき、宝探しなどで遊ぶ

ボールをゆずってあげられたよ



けがないようにしてあげられたよ

学習を通して交流しよう

5年生が1年生に算数先生、図工先生、体育先生などになって、教える

問題ができたらほめてあげられたよ



お手本を見せてあげられたよ

学校生活を通して交流しよう

5年生と1年生が、紙芝居、劇、カルタなどで、よりよい学校生活について考える

1年生の気持ちを考えてあげられたよ



前より1年生に声をかけてあげられたよ

実践：クラス年表作り

異年齢交流で発見した自分のよさをクラス年表で可視化!!



結果

	5月	7月	11月
自分にはよいところがある	21人	22人	29人
友だちは自分のよさを認めてくれる	22人	25人	30人
自分は人の役に立っている	11人	14人	30人

成果

- 自分にはよいところがあることに気付くことができました
- 友だちのよさを認め合うことができました
- 自分のよさに自信がもて、自己有用感がアップしました

課題

- 継続して行っていくことが有効で、学級活動の時間の確保の工夫が必要です
- さらに活動の充実を図るために、同年齢同士の関係でもよさを認め合える手立てが必要です